



巨大なツリーの点灯に多くの家族連れが訪れました



サンタさんもお菓子も登場。子どもたちにお菓子をプレゼントしました。

おっきなツリーがお目見え 川崎スターライト

12月4日、道の駅かわさき向かいの21P駐車場に巨大なクリスマスツリーがお目見えし、イルミネーション(電飾)の点灯式が行われました。

この事業は、川崎村商工会青年部(鈴木宏部長)が毎年、生涯学習ステーションで行っていたもので、より多くの人に見てほしいと、今年は国道沿いでの実施となりました。青年部では、11月初旬から準備を行い、高さ7メートルのクリスマスツリーやそりに乗ったサンタクロースを電球約1万個で表現しました。

この日は、約150人の親子が集まり、全員でカウントダウンを行い、ツリーが点灯すると大きな歓声が沸き起こりました。同部員ふんするサンタクロースも登場し、集まった子どもたちにお菓子をプレゼントするなど、点灯式に花を添えました。また、願い事を書くボール「サンタま」の販売も行われ、早速プレゼントの願いを書いてツリーに飾る子どももいました。

ツリーの点灯は25日まで、午後5時から10時までの間、国道行く人たちの目を楽しませてくれます。

素晴らしい作品で魅了 両磐美術展が開催

12月3日と4日の両日、川崎体育センターで両磐美術展が開催されました。

この美術展は、両磐地区芸術文化協議会と市教育委員会が主催で今年で19回目。広い館内には、市内の各地域と平泉町、藤沢町から洋画や書道、陶芸や手工芸など13の分野 460点の作品が展示されました。

3日の開会式では、菊池勉同協議会副会長ら5人がテープカット。雪にもかかわらず大勢の人が訪れ、各分野の素晴らしい作品をじっくり見学し、仲間の作品を写真に収めるなど、大作や力作を堪能していました。



大作や力作を多くの人が鑑賞

遊び力、おもちゃの力を再認識 子育てフォーラム開催

11月19日、生涯学習ステーションで子育てフォーラム「南いわてっこまつり」が開かれ、多くの親子が参加しました。このフォーラムは、遊びの力、おもちゃの力、生活習慣の力を見直す機会にと千厩地方振興局が主催しました。

会場には、おもちゃの広場や生活習慣、遊びについての各コーナーが開設。大型遊具で思いっきり遊んだり、ロボットと会話をしたりと、子どもたちは大いに楽しんでいました。また、東磐井歯科医師会が正しいブラッシングやかみ合わせなどの指導を行ったり、遊びについての講演会も行われ、参加した親は「遊び力」を再認識しました。



近未来のおもちゃ「イフロボット」と会話を楽しむ子どもたち

プラハ・バロック合奏団演奏会 清らかな児童合唱も共演

チェコのプラハ・バロック合奏団演奏会は12月9日、一関文化センターで行われ、一関少年少女合唱団と公募による小中学生、合わせて30人が「きよしこの夜」など3曲を共演しました。約1カ月の練習を重ねて本番に臨んだ岩淵陽介君(小梨小5年)は「オーケストラに合わせてうまく歌えてよかったです」とうれしそうに語り、山影蘭さん(山目小4年)は「緊張したけれど、気持ちよく歌えました」と話してくれました。佐藤明美さん(南小4年)は「最初は不安だったけれど、友達もでき、一緒に歌えてうれしい。きょうで終わるのが残念です」と、満足な中にもちよっぴりさびしそうな様子でした。



合奏団と一緒に清らかな歌声を響かせた児童合唱団の皆さん



浅井市長へ優勝を報告する守屋さん

払い腰一本！守屋さんが 日本マスターズ柔道大会優勝

字沢の守屋榮吉さん(54)は11月25日から27日の3日間、埼玉県上尾市で開催された第2回日本マスターズ柔道大会に初出場し、50～54歳の部66キロ級で優勝。みごと金メダルを勝ち取りました。

守屋さんは11月28日、市役所を訪れ浅井市長へ「勝ちたいとの思いで必死に練習をしました。1回戦で前年優勝者に当たったのが一番の山場。決勝では気合で払い腰一本を決めました」と優勝報告をし、来年フランスで開催される世界大会に向けて「日本チャンピオンのメンツにかけて、勝ってきてたい」と力強く意気込みを語りました。



坂本助役からお祝い状を送られた高橋キヨさん

満100歳おめでとうございます ますますお元気で 高橋キヨさん

12月10日、高橋キヨさん(赤荻)がめでたく100歳の誕生日を迎えられました。明治38年、中里村(現一関市)で生まれたキヨさんは、昭和2年に故良一さんと結婚し、子供4人が健在で、孫9人、ひ孫24人に恵まれました。家族は息子夫婦ら7人で、現在は一関病院介護療養型医療施設に入所しています。

この日は坂本助役がキヨさんを訪れ「おめでとうございます。これからもお元気で」とお祝い状と記念品、花束を手渡しました。足腰が弱くなったものの、食事は何でも食べるというキヨさんは「申し訳ありません」とはっきりした口調でお礼を述べ、家族や施設関係者らの祝福を受けました。